

(3) 硫黄島いおうじまのようす

硫黄島は、まわりがおよそ15キロメートルあります。三島村の3つの島のまん中にあります。島には、今でもふん火している硫黄いおう岳だけがそびえています。また、島の東がわには、1934年（昭和9年）の海でのふん火でできた昭和しょうわ硫黄島いおうじまもあります。



硫黄岳

硫黄岳は今もけむりをあげているので、そのにおいやはいがときどき村の人たちをなやませます。やさいや花などがかれてしまうこともあります。

島には温せんがたくさんわいていて、島の人たちやかんこう客によるこばれています。火山や温せんなどのえいきょうで海がみどりや茶色になっています。

硫黄島には川や田んぼがなく、みなとのまわりには平らな土地がひろがっています。



東温せん